

UDタクシー導入

業者の焼津

車両にラッピング 啓発効果に期待

焼津市のタクシー業者がこのほど、使いやすさを考慮した「ユニバーサルデザイン（UD）」型車両1台を導入し、8日から運転を開始した。県内のタクシー業界ではUD車両の導入が徐々に進み、県や焼津市は「UDタクシーが地域を走ることで、地域社会への意識喚起につながれば」と啓発効果に期待する。

今回導入したのは、「クシー。車両は広い車内空間を確保し、車椅子用のスロープやスライドア、乗降用ステップなどを装備。車椅子使用者や高齢者、妊婦、荷物の多い人など、幅広い人々の利用を想定する。料金は通常の小型車と同じ。



県などによると、県中部では静岡市や島田市などのタクシー業者が導入済みという。同社は県内の先行業者と同様、UD車両の統一ロゴマーク「みんなのクシー」を車両にラッピングし、啓発を目指す。8日には焼津市の大井川福祉センターで、同社主催のお披露目会が開かれ、行政関係者や地域住民らがUD車両を見学した。

同社は今後、UDの関連研修を受講するなどして、社員の啓発も進める。同社の担当者は「地域の高齢化が進む中、乗りやすい車を提供することで多くの人々に末長くタクシーを利用してほしい。UDへの認知も広めた」と話した。

地域住民がUDタクシーに試乗したお披露目会―焼津市の大井川福祉センター